

公立大学法人青森公立大学 令和7年度業務実績報告書

業務実績の概要

第1 全体評価：順調

【大項目：7件】すべて4（順調な進捗）

【小項目：131件】A評価：15件 B評価：116件

※R6年度【131件[A評価：11件 B評価：120件]】

令和7年度の年度計画に対する業務実績は、以下に示すとおりであり、教育、研究、地域貢献及びその他の業務のいずれについても、中期計画の進捗は順調であることから、全体としても順調であるものと評価する。また、令和7年度に受審した一般財団法人大学教育質保証・評価センターによる大学機関別認証評価において、「大学評価基準を満たしている」旨の認定を得るとともに、「学生生活支援体制の充実に向けた継続的な取組み」及び「地域貢献・地域連携活動の積極的な展開」の2点が優れた点として評価された。

■小項目別評価の評価区分

S評価：年度計画をはるかに上回って実施している A評価：年度計画を上回って実施している B評価：年度計画をおおむね実施している C評価：年度計画を十分には実施していない D評価：年度計画を実施していない

■大項目別評価の評価区分

5：特筆すべき進捗 4：順調な進捗（小項目別評価がすべてS、A又はBである場合） 3：おおむね順調な進捗（小項目別評価におけるS、A又はBの割合が9割以上） 2：進捗がやや遅れている（小項目別評価におけるS、A又はBの割合が9割未満）

1：進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある

※公立大学法人青森公立大学事業年度評価実施要領から抜粋（R4.3.24改正 青森市地方独立行政法人評価委員会）

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（P18～P32）

1 教育に関する目標を達成するための措置（P18～P28）

【大項目評価：4（順調な進捗）】 年度計画：達成

【小項目評価：50件[A評価：3件 B評価：47]】 ※R6年度【51件[A評価：4件 B評価：47件]】

<A評価>

- ①「シラバス（講義計画・概要）において到達目標を明示し、それに基づく適切な授業運営及びGPAに基づく成績評価を行い、成績優秀者の表彰及び成績不振者の個別指導を実施する。」（P18 No.2）
→学生に、よりディプロマ・ポリシーを意識してもらうために、到達目標の明示だけにとどまらず、ディプロマ・ポリシーと科目との関連性をシラバスで明示することによって、カリキュラム全体における個々の科目の位置づけを意識させることで、教育効果の増大を図り、ディプロマ・ポリシーを起点とした教学マネジメントの強化につなげる取組みを行った。
- ②「県内からの志願者増加のため、県内高校との懇談会を実施するほか、高校での出張説明会を継続して実施する。また、高大連携事業特別講座については、青森・弘前・八戸において実施を継続する。」（P22 No.27）
→高大連携事業特別講座について、青森・弘前・八戸において継続開催しただけではなく、高校生のアンケート結果から、より満足度を向上させるための取組みとして、新たにグループワーク形式を取り入れるなどの改善を行った。
- ③「インターネット広告やWeb-DMを活用するとともに、SNSを積極的に活用し、効果的な広報活動を実施する。」（P23 No.28）
→従来の取組に加え新たな取組みとして、一般選抜の進路検討時期に合わせて、北関東地域の高校生に対してWeb-DMを実施するとともに、受験生等に向けた「入試サイト」の制作・公開を実施した。
◇北海道・東北地域：2,000通(6/27)、2,000通(10/31) 【新規】◇北関東地域：1,200通(11/7)、1,200通(11/21)

2 研究に関する目標を達成するための措置（P29～P32）

【大項目評価：4（順調な進捗）】 年度計画：達成

【小項目評価：13件[A評価：1件 B評価：12件]】 ※R6年度【13件[A評価：3件 B評価：10件]】

<A評価>

- ①「教員の研究成果の地域還元を推進するため、地域住民を対象とした公開講座、青森県立保健大学と連携した公開講座などを5講座開催する。」（P30 No.55）
→地域住民を対象とした公開講座などを6講座を実施したことに加え、受講者数もR6年度に比べ20%増となった。

第3 地域貢献に関する目標を達成するための措置（P33～P38）

【大項目評価：4（順調な進捗）】 年度計画：達成

【小項目評価：19件[A評価：4件 B評価：15件]】 ※R6年度【19件[A評価：2件 B評価：17件]】

<A評価>

- ①「県内自治体や青森市産官学連絡会議等との連携及び自治体の課題解決をテーマとしたゼミや研究活動、学生・教職員のボランティア活動への参加等を推進し、地域貢献活動を充実させる。」（P33 No.64）
→受託事業の調査において、ゼミ活動の一環として学生による調査活動を行った。
○受託事業 R6：1件⇒R7：2件 ○青森市産官学連携プラットフォーム「合同学修・研究発表会」参加団体 R6：2件⇒R7：5件 ○青森市学生ビジネスアイデアコンテスト R6：参加1チーム受賞なし⇒R7：参加2チーム1位（グランプリ）、オーディエンス賞受賞
- ②「県内市町村の地域課題解決を支援するため、連携協定を締結する市町村の依頼を基に現地調査や政策提案、事業の受託、新たな連携協定に向けた調査及び検討等を行う。」（P34 No.69）
→新たに中泊町から「中泊町パイロットプロジェクト検討フィールド調査」の事業を受託し、R7年度は地域防災をテーマに学生フィールドワーク調査及びワークショップ開催などをこなった。中泊町の長期総合計画の課題解決に積極的に取り組み、防災意識の向上及び地域コミュニティの形成に尽力した。
- ③「教員の研究成果の地域還元を推進するため、地域住民を対象とした公開講座、青森県立保健大学と連携した公開講座などを5講座開催する。」（P36 No.75）
→地域住民を対象とした公開講座などを6講座開催したことに加え、受講者数もR6年度に比べ20%増となった。
- ④「青森市学生ビジネスアイデアコンテストへの学生参加を積極的に推進する。」（P37 No.80）
→学生の創業・起業意識の向上を図るため、青森市学生ビジネスアイデアコンテストへ参加した。
代表2チーム参加 参加結果 1チームが1位（グランプリ）、オーディエンス賞をダブル受賞

第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置（P39～P41）

【大項目評価：4（順調な進捗）】 年度計画：達成

【小項目評価：12件[A評価：2件 B評価：10件]】 ※R6年度【12件[A評価：1件 B評価：11件]】

<A評価>

- ①「予算編成過程を通じて、事務の効率化・合理化に向けて、事務処理等の検証を行う。」（P39 No.92）
→情報システムの活用などにより、事務処理の見直しを行った。また、次期学務情報システムの令和10年度中の本稼働に向け、外部コンサル会社と業務委託契約を締結したほか、電力会社の見直しにより電気料金の経費削減の見直しを付けた。
- ②「ホームページやSNSを活用し、イメージ動画を配信するとともに、大学行事、地域連携活動、公開講座、教員や学生の活動等の情報を積極的に発信する。」（P40 No.93）
→ホームページやSNSを活用し、イメージ動画を配信するとともに、大学行事、地域連携活動、公開講座等の情報を積極的に発信した。また、更なる情報発信の強化を図るため、新たに青森公立大学広報基本方針、広報基本戦略、広報倫理ガイドライン、青森公立大学広報戦略委員会規程及び広報委員会規程を制定した。

第5 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置（P42～P44）

【大項目評価：4（順調な進捗）】 年度計画：達成

【小項目評価：14件[A評価：3件 B評価：11件]】 ※R6年度【14件[A評価：1件 B評価：13件]】

<A評価>

- ①「受験生確保のため高校訪問、オープンキャンパス、各種情報発信等を実施する。」（P42 No.95）
→受験生確保のため、延べ185校の高等学校を訪問し、本学の特徴や入試情報等の情報提供を行った。また、オープンキャンパスを2回実施し、ミニ講義や教学及び進路に関する個別相談のほか、学生スタッフによる情報発信等を実施するとともに、新たに高校生向けの「入試サイト」を開設し積極的に情報発信を実施した。
- ②「科学研究費補助金等の外部研究費の申請を11件以上行う。」（P42 No.96）
→科学研究費補助金等の外部研究費の申請を17件行った。◇科学研究費補助金：7件◇公益財団法人青森学術文化振興財団助成事業：10件
- ③「予算編成過程を通じて、事務の効率化・合理化に向けて、事務処理等の検証を行う。」（P43 No.102）
→情報システムの活用などにより、事務処理の見直しを行った。また、次期学務情報システムの令和10年度中の本稼働に向け、外部コンサル会社と業務委託契約を締結したほか、電力会社の見直しにより電気料金の経費削減の見直しを付けた。

第6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置（P45・P46）

【大項目評価：4（順調な進捗）】 年度計画：達成

【小項目評価：7件[A評価：1件 B評価：6件]】 ※R6年度【7件[B評価：7件]】

<A評価>

- ①「大学機関別認証評価の受審について、適切に対応する。」（P45 No.111）
→一般財団法人大学教育質保証・評価センター（文部科学大臣の認証を受けた評価機関）において、大学機関別認証評価を受審するとともに、書面評価及び実地調査に対して適切に対応し、当該評価センターが定める大学評価基準（基準1：基盤評価-法令適合性の保証、基準2：水準評価-教育研究の水準の向上、基準3：特色評価-特色ある教育研究の進展）を「満たしている」旨の認定を受けた。

第7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置（P47～P50）

【大項目評価：4（順調な進捗）】 年度計画：達成

【小項目評価：16件[A評価：1件 B評価：15件]】 ※R6年度【15件[B評価：15件]】

<A評価>

- ①「国際芸術センター青森や青森市の中心市街地において、小・中学生等を対象とした創作体験等の教育プログラムの実施や、広く市民を対象とした 展覧会、ワークショップなどを開催する。」（P48 No.121）
→国際芸術センター青森や青森市の中心市街地において、創作体験等の教育プログラムの実施や市民を対象とした展覧会、ワークショップなどを開催し、来場者促進を図った。
※中心市街地で開催した展覧会については、昨年のACACでの展覧会に比べて、1日当たり約4倍の来場者であった。また、その他のイベントについても、できる限り中心市街地で開催した。このことにより、新たなターゲット層の獲得へとつながった。